

令和5年度志摩市地域公共交通会議 第1回離島航路幹事会 議事概要

日 時 令和5年6月20日(火) 15時～

場 所 志摩市消防本部 会議室

【出席委員】

| | |
|---------------------------|------------|
| 志摩市副市長 | 世古 勝 |
| 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 | 加藤 博和 |
| 間崎自治会 会長 | 岩城 正幸 |
| 間崎婦人会 会長 | 山本 くに枝 |
| 三重県立水産高等学校 校長 | 向井 英規 |
| 一般社団法人志摩市観光協会 専務理事 | 岡田 英美 |
| 社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 会長 | 前田 正典 |
| 中部運輸局三重運輸支局 鳥羽海事事務所長 | 竹内 宜也 |
| 志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長 | 矢尾 弘 |
| 三重県南部地域活性化局 次長兼南部地域振興企画課長 | 森吉 秀男 |
| | (代理：今西 康裕) |
| 志摩市産業振興部長 | 山本 和輝 |
| 志摩市政策推進部長 | 箕浦 勤 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>それでは全体会に続きまして、第1回離島航路幹事会を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。委員12名のうち12名、全員の出席でありますので、半数以上の要件を満たしております。志摩市地域公共交通会議設置要綱第4条第4項の規定に基づき、本会議が成立することを報告させていただきます。</p> <p>それでは議事に入ります。議長につきましては、会長であります世古副市长にお願いしたいと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>どうぞよろしくお願いいたします。では、着座にて進めさせていただきます。本日は報告事項2つ、協議事項2つということで、まずは報告事項(1)について、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【資料1-1、資料1-2の説明】</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、委員の皆様、ご意見等ございましたら、よろしくお願いいたします。</p> |
| A委員 | <p>資料1-2ですけど、通勤客は実際おられますか。また、どんな方が把握されていますか。</p> |
| B委員 | <p>おります。志摩市内で就業されている方です。もっと具体的にいいますと、1名が森林組合、1名が公共交通の方です。あとは、郵便局、新聞屋さん等です。</p> |
| A委員 | <p>通学は水産高校が多いんだと思うんですけど、他の高校、志摩高校とか、そういう方もおられますか。何人程度ですか。</p> |
| B委員 | <p>全て水産高校で9名です。</p> |
| A委員 | <p>あと、島民以外の志摩市民、および、観光客っていうところですけど、これこそ分からないかもしれませんが、どのぐらいが観光客で、どのぐらいが生活利用の方になるのかというのは把握されていますか。</p> |
| B委員 | <p>把握していません。</p> |

| | |
|------|--|
| A 委員 | <p>分からないとなると、一回調べたいなという感じですね。志摩市民と観光客合わせて6.7%増加というというのは、一体中身はどうか分からない。これはアンケートをとるとか、そういうことをやっていただくといいなと思いますけれども。そうじゃないと何とも言えないなど。戻ってきてるといのはあるんですけども、元に近づけていかないといけないとなったときに、内訳のところは大事かなと思いますので。これは計画策定するときにはやらなければいけない。そういうところを調べる予定はありますか。</p> |
| 事務局 | <p>島民以外の志摩市民、および、観光客というところを分けての整理ができおりませんし、今、その調査を予定していませんでしたので、これからご意見を受けて、一度、マリンレジャーさんと相談しながら考えるようにいたします。ありがとうございます。</p> |
| B 委員 | <p>令和元年度がベンチマークになります。一番輸送人員減少で影響を与えているのがここなので、詳細にデータがほしいところではあります。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。他、いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。それでは、続きまして資料2の説明にいきたいと思います。事務局お願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【資料2の説明】</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見等ありましたらよろしく願います。</p> |
| A 委員 | <p>自転車のことが出ていますが、自転車は自転車の計画でやっていて、そこにどういうふうアプローチするかというのがあると思うんですけど、何か考えていますか。それとともに、これは船だけのことじゃないですけども、かなり公共交通計画の中でも自転車をどういうふう扱うかというのはつめていかなきゃいけないところですよ。その辺はどうですか。</p> |
| 事務局 | <p>意見ありがとうございます。担当部局と連携を密に取りながら自転車と公共交通のミックスといいますか、そういったことを積極的に取り組んでいきたいと考えております。また、そういった先進事例の研究もあわせて進めていながら、志摩市の特性に応じた自転車、サイクリングの活用促進というところも取り組みを進めていけたらと考えております。</p> |

| | |
|------|--|
| A 委員 | <p>先進事例は全国いろんなところにありますけど、私から見ると大したことないのかなと。自転車レーンを何となく作って、だけどこを自転車が走ったら後ろに車が並ぶよな、という感じです。それはそれでいいんですけど、この地域の場合は、船降りたらそこで自転車を借りられるとか、船に自転車を乗せられるとか、公共交通同士もそうですし、公共交通と自転車も繋がりが悪いところが全くないようにしていくにはどうしたらいいかというのを徹底してやるということをやらなきゃいけないんじゃないかなと思うんです。それから、サイクルトレインもできたので、自転車を電車に乗せたり、そこにさらに駅のところや船着き場のところに自転車が借りられる、返せるところがあるとか、それで自転車走れる道路もきちんと作っていくとか、そういうことを継続してやっていけばいいのではないかと思います。自転車に乗れば、駅で1本前、1本後の電車を選択できる、あるいは違うところへ行ってから電車乗る、というふうに、それがこの地域だったら当たり前になる。そんな中で、航路もその中に入って、和具港で降りたら、そこから御座くらいまで自転車で行けるようになる、そういうふうになると大分違ってくるかなと思います。また、船に乗せることによってショートカットされるということもあるし、そういうことをどんどんやっていってこそ先進地になれる。そんなことやっているところは他にはなくて、むしろ、自転車借りられるかは駅に行かないと分からない、そういうところばかりなので、そういう改革が必要じゃないかなと。その中にこの航路の生ける道が一つあるかなと、いうことをここで言いたい。</p> <p>あと、間崎島の中で自転車が走るというのはどうでしょうか。</p> |
| C 委員 | <p>自転車に乗ってる人は多いが、船に積んでいくというのはないです。間崎島では、高齢者が多いので自転車は間崎島の中だけで、自分の船で行く人は、自転車は積んで買い物に行きます。定期船には絶対自転車は乗せません。観光客の人は定期船に乗せるのではないかな、賢島から和具へ行ったり、和具から賢島に出たり。</p> |
| A 委員 | <p>外からの観光客が来られたら、そういう人が間崎島の中で自転車乗るっていうのはありますか。</p> |
| C 委員 | <p>間崎島で自転車は2回ぐらい見たことがあります。</p> |
| A 委員 | <p>それを歓迎されるかどうかなんですけど。あまり走ってもらうと困るっていうんだったらあれなんですけど、そうじゃなければもっと間崎島で自転車</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>に乗ってもらおうということを考えてもよいのではないか。もちろん危なくなるので、そういうところも考えなければいけないですが。</p> |
| B 委員 | <p>自転車利用が多いのは、前島半島をぐるっとサイクリングしていかれて、自転車で戻るのではなくて、せっかく和具の方まで行ったんだから、そこから帰りは船で戻ろうっていう観光客が多いですね。</p> |
| A 委員 | <p>そこは宣伝していくともっと出てくるんだろうけど。更にそういう方が、間崎島もちょっと立ち寄るといこともあるのではないか。本数があるんで、寄ってぐるっと回って帰って行くとか、そういうこともあると面白いかなと思いましたが、たまにいるという感じなんですね。</p> |
| C 委員 | <p>間崎島で降りる観光客は、間崎島を1周するのに歩く人が多くて、自転車はそんなないです。みんな徒歩で歩いて、時間をみて、賢島行ったり和具へ行ったりしています。</p> |
| B 委員 | <p>あまり自転車でそういうふうなものがあるよ、というプロモーションやってしまうと、船の構造上、キャパシティがありますので、困った状態になります。</p> |
| A 委員 | <p>ほどほどがいいんだろうなと思いますけど。野放図にやると大変なことになるかなとは思いますが。</p> |
| C 委員 | <p>年間、自転車は結構利用あるでしょう。私が乗るときは自転車が多いので。</p> |
| B 委員 | <p>利用はあります。ただ、1回当たりの台数が今ちょうどいいぐらいなので、これ以上増えると困ります。</p> |
| C 委員 | <p>降りるのにも時間かかるし、航路の時間もあるしね。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは報告事項2件についてはこれでしめさせていただきます。ひき続いて3.の協議事項ということで、(1)の説明資料3をお願いします。</p> |

| | |
|------|---|
| 事務局 | 【資料 3 の説明】 |
| 会長 | ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、皆さま、質疑をお願いします。 |
| A 委員 | 17 ページですけど、輸送量の拡大・確保のところでは旅行会社や観光団体との連携とありますけれども、この旅行会社と連携というのはどのようなものでしょうか。 |
| B 委員 | こちらの航路を利用したツアーの造成、これは過去からも続けておるんですけども、例えば、電車で来て賢島港から和具港へ向かって、そちらの先の民宿、旅館に泊まる。もうちょっと簡略化したものとして、間崎島の中でちょっとした体験をしてもらおう。これは事情があって、流れたんですけども。そういうところのツアー造成というのを続けています。 |
| A 委員 | 年間それぞれどのぐらいの方が乗られる感じなんですか。今、コロナの影響がありますけど。 |
| B 委員 | コロナ前だと 200～300 人くらいです。 |
| A 委員 | これはあくまで例えばなんですけれども、鳥羽市の場合だと、鳥羽高校のビジネス何とか部というのがあって、そこでこういうのを考えていろいろやったりしていますので、それをこの地域公共交通会議で揉んで観光協会と連携するとか、そういうのも考えているんですが。もちろん旅行会社さんは考えられるプロなので、他のいろんなところとも連携してやるのもいいんですけど、そういう地元からつくってみるというのも面白いかなと。今の 200～300 人くらいだったら、もっともっといけそうな気が個人的にはするし、そのときにそういった独自のものも考えていければと。 |
| B 委員 | 事務局が鳥羽ですので、離島の方でされるようなツアーを横目で結構見ているんですけど。どちらかというと鳥羽の離島というのは、そういう体験とかの素材が非常に恵まれてますので。それに比べてこちらのそういう資源というのは、あっても発掘できてないのか分かりませんが、やはり旅行会社も鳥羽の離島へ向けてのツアーが組みやすい状態にはなっているかなと思います。 |

| | |
|------|---|
| A 委員 | <p>鳥羽はそういうネタがたくさんあって、そういうことをやっている会社さんなり企業さんも何個かあって、そういうところと組んでるからいろいろできると。先日、私、鳥羽で合宿をしてきたんですけど、その時もそういう業者さんと話して、いろいろ考えておられました。志摩は資源がないのか、提案していないのか、どっちかなんでしょうけども考えていけない。あと、費用のほうは、船員さんのところがとても大きく上下していますね、燃料費も。燃料費は分からない面もあると思うので、これから、ここは大きなリスクだと思うんですけど。船員さんは、これはある程度最初からそういう見込みとかを考えると、こういう変動になるということですか</p> |
| B 委員 | <p>いえ、そういう意味ではなくて、浜島航路と同時に運航していた時代に、ある程度浜島の航路と分担していた。その航路がなくなってしまったので、こちらの和具の航路に付け替えられてしまったというか、そういう事情があります。</p> |
| A 委員 | <p>そうすると浜島があったときの船員さんと数的には変わっていないのですか。</p> |
| B 委員 | <p>そうですね。運航する船舶に付いてる船員の人件費を、運航率をかけて、どの航路で何割走ったかをかけて、そちらの和具航路の方の分担率が決まってくる。従前は浜島へも走っていたのが、浜島の方がそれをある程度分担しましたので軽減されてたんですけども、1 航路だけなのでこのような数字になっています。</p> |
| A 委員 | <p>分かりました。あまりそこを減らすのはあんまりよくないところだと思うんですけど、一体どこが縮減できるのかなと思ったので、なかなか難しいですね。しっかり修繕してかないといけないのかな。あと、その他収入というのは、これは例えば6年度だと5,203という数字が出てますけど、これはなぜこの年だけこんなに多いのですか。</p> |
| B 委員 | <p>それは11ページを見ていただくと、収益の雑収入の数字が出てるんですけども、これは先ほどご説明をさせていただきましたとおり、2年度が300万円、3年度が100万円、4年度いきなり1,100万ということで、国交省の補助金につきまして2年度3年度はある一定のルールに基づいて標準計算をしたという数字なのですけれども、4年度につきましては、実績と標準の差の2分の1を、さらに補助するという形で補助金を加えていただいた。その補助金</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>2分の1なのですが、もしコロナがなければ、その倍収入があったと考えてください、という作成基準になっているんです。従って、ここの年度だけ大きく雑収入が膨らんでいる、という要因で3カ年平均が520万円と、非常に大きく膨らんだ。私はすぐ分かりますけれども、営業雑収、3カ年平均そのままもって行って収益計がこの数字というのは、そんなのあり得ないというふうに思っていますけれども、これはルールなので致し方ないかなと。</p> |
| A 委員 | <p>その他収入の中に補助が入っているということですね。そのせいでコロナ関係があつてこうなつたと。おそらく実態はそうはならないだろうけど、3カ年平均だと入っちゃうのでこうなつたと。分かりました。ありがとうございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> |
| A 委員 | <p>グランピングの話をしていましたけれど、グランピングは一体どこでやって、そういう方がどういうふうに通遊してくれるか、ということは把握されていますか。私はキャンプとかはすることがたまにありますけど、そういうのとは違いますよね。</p> |
| 事務局 | <p>豪華なテントの中でお料理なんかも準備していただいて、というような施設で、グランピングにつきましては、賢島周辺、神明地区辺りにもできてきております。来られる方の年代を見ますと、若い世代の女性が多いです。賢島周辺においても、結構皆さん電車で来て歩いてくる方もいる、ということをお事業者さんから聞いたことがあります。この和具航路につきましては、特にこの春、非常に顕著な状況がありまして、3月の春休みくらいにそういった女性の大学生がかなりこの航路に乗って、グランピングの場所、御座地区を目掛けて船にたくさん乗っていたという状況も見ております。和具まで着いたときにはキャンプ場の方がお迎えする対応をしているんですが、非常に人数が多いときには、その送迎にかなり人が割かれてしまつて事業所としても困っている、ということをお事業者さんから聞いております。</p> |
| A 委員 | <p>分かりました。オートキャンプだったら当然車で行くので関係ないけれど、グランピングだと公共交通で来られる方が一定数、特に女性の若い方とか、そういう方が多いと。そういう方に使われる、特に御座方面で使われるんだつたら、ここで乗っていくということは考えられる。実際調べて来られたのか、その事業をやっている方にそこがいいと言われて来たのか、そのような</p> |

| | |
|------|---|
| | 話ですね。 |
| 事務局 | そうですね。事業者の方に航路があるということを周知していただいております。それで乗ってくるというような状況だと聞いております。 |
| A 委員 | 個人的にはその人たちがその船に乗ってどう思ったかというのは聞いてみたいですね。 |
| 事務局 | 事業者さんと対話させてもらったんですが、移動手段だけではなくて英虞湾を走るということで、移動しながら観光も楽しめるという付加価値も持って移動できるということで、非常に好評だというようなことはおっしゃってありました。 |
| A 委員 | よく我々も言ってるんですけど、今の 20 代は本当に車を乗らなくなってきていて、そうすると物を持っていけないので、グランピングみたいなのが非常に相性がいいと。歩くのはそんなに抵抗がない。むしろ、食べることとか、そういうところにお金を割いて、交通とかは車だと非常にお金かかるというので、そこは節約していきたい、そういう発想が強いようで、そういうところに定期船がはまってくると、景色が良くて旅気分が味わえるからいいのかなど。そういうところにヒントがあるんだろうなと思うので、直接話が聞けるといいですね。あるいは、もっと付加価値上げるためには、もっとこういう工夫があるといいですとか、そういう話が聞けるとさらにいいかもしれません。これは業者さんに対しての方がいいかもしれません。あるいは乗って話を聞くとか、糸口になるので、そういうのは大事だと思います。 |
| 会長 | <p>ありがとうございます。参考にさせてもらって今後掘り下げていただきたいと思います。ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは資料 3 の生活交通環境維持改善計画、離島航路確保維持計画の内容についてご承認いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、ご承認ありがとうございます。本会議設置要綱第 4 条第 5 項の規定により、地域公共交通会議の議決とさせていただきます。</p> <p>続きまして協議事項 (2) ということで、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | 【資料 4 の説明】 |

| | |
|------|--|
| 会長 | <p>説明ありがとうございました。では、ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見ご質問等ありましたら、よろしく願いいたします。</p> |
| D 委員 | <p>水産高校です。日ごろは本校生徒の通学にご配慮いただきありがとうございます。先週定期船が止まったことがあって、そのときに困ったことがあります。9名が定期船を利用しているんですけど、1日2日の定期船が利用できないものを割戻されても、実際に1日2日バスを利用すると正規の運賃で通学しなければいけないということなので、片道800円、往復1,600円かかる。それを生徒に負担させるのは難しいなということで、先週船がとまったときは、賢島駅まで本校の職員が生徒を迎えに行きました。この生徒の送迎というのは、本来は職員の職務ではないので、なかなか職員に行ってくれと言にくいものですから、この辺は管理職である教頭の方で対応したということになります。もちろん学校終わってからも賢島駅へ送って行きました。1日ぐらいだからそういうふうに対応できたんですけど、これが例えば長期的に今の船が使えなくなったときに、1カ月2カ月の定期券を払い戻してもらって、その分でバスの定期を買う、これは金額的にはほぼ同じだと思うんですけど、実際、今運行しているスクールバスに乗れるかという、今は定員いっぱいぐらい生徒が乗っています。スクールバスに乗れない生徒は、定期バスに乗って来ている状態です。なので、定期船がとまったときにスクールバスに9人が乗れるかという厳しい状況があるな、というふうなことが分かっていて、どうしようかと、今困っているところです。本当に何事もなく2月まで今の船が動いてくれればいいな、と思っています。現状をお伝えしたということです。</p> |
| B 委員 | <p>水産高校からのお話の後で、こういうお話をするのは誠に心苦しいんですけども、今の話について順を追ってお話をさせていただきますと、この度6月11日に和具から出航する際に流木を引っかけて、スクリューが曲がってしまったということです。原因は6月の初めに大きな台風がきたときに湾内で流木が散らばったというような状況になってしまった。そういうのが他の船舶も結構あったようでございまして、引っかけたその日には造船所に上げれないということで、隙間待ちで、空いたらすぐに連絡してくれるということで、事前の予告もほとんどできない状態だったんですけど。6月15日に造船所が空きまして、浄化して応急対応をしました。それで変形は直したんですけど、軽微な振動がまだ残っているというような状況でございます。造船所ではそれ以上の措置ができないということで、いったん戻ってきて運行をしているんですけども、軽微な振動であっても、振動が続いたまま運行</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>を続けているとどこかに痛みが出てきて、さらに状況が悪くなるということになりますので、完全に補修をしたいということです。そのためには再度浄化をして専門業者が板金するという工程になるんですけど、この作業をやろうすると、早くて2日、通常でいけば3日くらいかかる、という状況です。今現在、造船所とか板金業者との間でスケジュールの調整を行っているんですけど、皆さまにはご迷惑をおかいたしますけども、再度2〜3日の運休があるということで、ご承知だけいただきたいです。よろしくお願いします</p> |
| C 委員 | <p>1隻だけではこういう事態は起きると思います。なので、分かっていたのに2隻にしなかったマリンレジャーがおかしいと思います。事故があって当たり前なのに1隻で運行しようというのは無理だと思います。前から「おくしま」にしても早くから故障しているのに、エンジンを代えるという考えが今までなかったのかなと私は思います。間崎島は定期船が命の綱なので、15日に1日運休したときに、そういう声はありましたので。そういうこともあるんだし、今まで事故がなかったのも不思議だと思います。1隻で走っていて、今故障した、ということをマリンレジャーは言うけれど、こういうことは最初から考えなければいけないのではないのかな、と私は思います。</p> |
| B 委員 | <p>当然のことながら、このリスクというのは1隻故障したときこれは頭の中で考えてまして。実をいうと、昨年7月におくしまが故障したときに国交省等々と主機関を換装するという意思表示をして調整を行ってきたんですけども、なかなか協議が前に進まなくて今に至っているということで、ようやく今回国庫補助金の交付を受けれるというような目途がやっとなったという状況でございます。さらには、交付決定するまで着工できないということがございまして、交付決定が必要と。そこから着工すると、今、エンジンの台数が少なくて入手が難しい、時間がかかるということで、非常に事故が起ってから長くかかってしまった。最初に故障があったリスクは当然のことながら認識をして調整をしてきているようなところでございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。市のほうからも補足というか、ご説明させていただきますと、マリンレジャーさんにおかれましては主力船「おくしま」がありながら、もうあと2船確保していただいております、予備船ということで。今回予備船1隻になったということもあって、先ほどマリンレジャーの方からもご説明がありましたけれども、国のほうでも相談してもらっていますし、市のほうにも相談いただいております、今回この新たな事業メニューが令和5年からできたところもあって、少しそのことで進んだのかなという</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>ところがあります。ただ、間崎島の皆さんのご心配というのは十分私ども市のほうも認識しておりますので、今回最速で補正予算というのを、提出させてもらって審議を受けているところです。1日でも早く2船体制になるようには努力させていただきたいと思ひますし、それはマリンレジャーさんも一緒の思ひで私どもも聞いておひまして、一緒にさせてもらってますので、そこはご理解いただきたいと思ひます。それと、もう1点の水産高校からのお話につきまして、現状はお聞きしました。ただ、実際にこの6月に流木を拾ってしまつて、もう一度本格的に直す部分もありますので、その部分につきましては、日程調整も含めて高校の方とか住民の皆さんになるべくご負担がかからないようなところで調整できるようには努力はさせていただきたいと思ひますので、すみませんが何分急ぎながらもドックの都合とかあると思ひますので、その辺り、またご協議、調整のほう、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> |
| C 委員 | <p>すみません。私らからしたら、1日止めるといわれると困ります。これは間崎島に住んで、定期船を利用しとる人じゃないと分からないと思ひますが。なので、私らとしたり、1時間に1本走るのを2時間に1本とか、そういうのにしてくれれば、病院の予約でも、伸ばしてくださいとか言えるけど、1日となると困ります。それは間崎島の人みんな思ひています。だから、1日といわず、何時間なら何時間、何本なら何本、といつて走らせてくれたらいいのに、という声もありました。15日に1日とまったけれど、あの日は風も何にもなかったので、あの日だけ観光、旅館の船外機みたいななのでもよかつたのではないですか。</p> |
| B 委員 | <p>あれはホテル所有の船ですよ。</p> |
| C 委員 | <p>そう。そういうときは、マリンレジャーが運航しているんだから、ある程度交渉して、間崎島に住んでいる人のことも考えて、やっぱり間崎島は定期船が命なので、それをもうちょっと考えてほしい。</p> |
| B 委員 | <p>その方が難しいと思ひますよ。航路認可とるだけでも。</p> |
| C 委員 | <p>1隻になつて、大分経つのに1隻で走らせとるいう会社がおかしい。</p> |
| B 委員 | <p>だからそこは我々も2隻になつた状態のときから協議を始めています。1隻になつてから協議を始めたんじゃない。3隻中1隻がなくなった状</p> |

| | |
|------|--|
| C 委員 | <p>態で協議を始めてまして、この状態なんです。それは私ども放置したわけじゃないですから、その辺をご理解はいただきたい。</p> <p>それは分かるけど、1日というのは間崎島に住んでいたら困ります。</p> |
| 会長 | <p>マリンレジャーさんがおっしゃるとおり、事業者として真摯に考えていただいています。一方で、間崎島の住民の皆さんの声というのも、今日、お聞かせいただきましたので、今後またこういった1日とか、3日とか、こういう点検整備の期間につきましては、今回緊急の場合の対応につきましても市のほうでいろいろ検討して協定書を結んだりしておる部分もございますので、その部分も含めて、その点に関しては市のほうがまたお話を聞かせていただいて、より良き方向になるように調整していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> |
| C 委員 | <p>あれだけの台風が来てるところで言いたくないけど、マリンレジャーの言い分も分かるけど、私らも島民の人のそういう声を聞くと、言わないわけにはいかないの。それを分かってください。</p> |
| 会長 | <p>はい。市のほうでしっかりと受けとめさせてもらいますので、どうぞ、ありがとうございます。よろしくをお願いします。</p> |
| B 委員 | <p>こちらも放置していたわけではないというのは分かってください。</p> |
| 会長 | <p>市のほうも十分分かっておりますし、今日のお話の中で当然真摯に対応していただいていたことは市のほうも十分認識しておりますし、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p> |
| A 委員 | <p>驚いたというか、そうかと思ったんですけども、今回の国交省、交通 DX・GX による改善支援事業でやってるんです。これは令和5年度は令和4年度に比べて公共交通に対する国の予算が3倍近くに増加した中の一つなんです。DX はデジタル・トランスフォーメーション、GX はグリーントランスフォーメーションという訳の言葉です。これと間崎島の定期船の話と何の関係がある、ということなんですけど、今 DX とか GX というふうになると政府としても非常にそこを重視していて、デジタル化、あるいは CO2 削減、地球温暖化防止、そこに資することであるといったら予算がつきやすく、しかも公共</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>交通に対して国としては非常に力を入れているということでこういう予算ができて、それがうまくこれに使えるとなった。これも偶然というか、これがなかったら全然見込みが立たなかったかもしれないので、一応 GX にもなりますし、これはそれでやっていけばいいのだと思います。</p> <p>緊急時の対応はもうちょっと考えるべきじゃないかと思っていて、これこそもっと早く始めないといけないので、実際にとまったときに水産高校さんもこういう措置をやったということを考えたら、ある種のシミュレーションをしたと思えば、一体どういう対応が必要かということをもっと細かく考えて、マリンレジャーさんから一報入ったらどういうふうに対応するかとか、連絡網も作ったりして体制を早く整えないといけないんじゃないかと思いません。</p> <p>2 月までの間だったら起こる可能性はありますか。過去はどうだったんですか、3 隻体制とかのときはあたりはしたんですか。</p> |
| B 委員 | <p>故障とかはありました。そのときはすぐ差し替えが効きましたので、運休することはなかったですが、もしくは、その 1 便だけみたいな形で処理できました。</p> |
| A 委員 | <p>船で収益を取ればマリンレジャーさんの中で船用意できるんだけど、そうではないので、どこからもお金が出ないとなったときに、じゃあ、銀行から離島航路を助けるといっても運営費としては助けられるけれども船としては出てこないという中で、ようやく見通しがたった。ですが、ほんとにこの 2 月まで、2 月もこれは見込みですね、今部品不足だとかいろんなこともあるので遅くなることも考えられますから、最後の緊急体制はもうちょっと詰めてほしいです。そこはもちろん水産高校さんも島民の皆さんも 1 日あけるというのは、それは困りますよね。歩いていけないし、泳いではいけないので。これは本当に致命的というか、これが台風とかだったらしょうがないんだけど、これこそ緊急事項としてどんどんやっていただきたいなと切に願います。</p> <p>マリンレジャーさんの運航状況というのは、ホームページで出していましたか。</p> |
| B 委員 | <p>ホームページで出してます。</p> |
| A 委員 | <p>そこにすぐに反映していただければと思います。この緊急時というのは、水産高校の生徒さんと島民の方向けと考えたらいいんですか。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>会長</p> | <p>現時点では間崎島住民さんの代替輸送の補填です。ただ、先ほど事務局から説明ありましたように、天候がよければ9人乗ることはできるんですけども、屋根がある部分が少ない。その辺り、天候を見ながらとか、またご相談させてください。いろいろこちらでも検討します。</p> |
| <p>A 委員</p> | <p>そのときの天候で、こっちだとか、あっちだとか言ったら、そういうこと自体が混乱します。そういうことを考えたときに一体何が必要かというのはやっていかないとけないと思います。そうでないと、そのとき混乱したら、また時間がかかるし、そういう手間取りがないようにしていただきたいなと思います。是非そこをお願いします。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございます。また水産高校さんとも密に連携しながら調整していきたいと思います。ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> |
| <p>E 委員</p> | <p>航路認可申請とかで私どもがやっているものですからご迷惑おかけして申しわけないなと思ったんですけども。今、観光船舶で輸送を確保するというので協議をしているというお話だったんですけども、この協議というのは志摩マリンレジャーさんと観光船の会社でされているのでしょうか。それとも志摩市が観光船の会社とされているのでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>これは志摩市と観光船舶の事業者さんの間で協定を結んで運航するというような形態を考えております。</p> |
| <p>E 委員</p> | <p>分かりました。既に航路の許可だとか届け出なんかをされている業者だとは思いますが、今、安全運航についてはかなり厳しい目が注がれているものから、そういった協議の中で安全にちゃんと運航するよう志摩市からも釘を刺していただきたいなと思います。どうしても離島航路をやっている公共交通事業者さんと、観光船を主にやっている公共交通事業者さんと、これまでの経験でいうと、安全運航に対する考え方でどうも差があるような気がします。離島航路は間崎島住民の足を確保するものから、安全については志摩市からも協議の中で口を酸っぱく言ってもらいたいなと思います。また何か困ったことがあったら、協議はしたんですけどもどうも安全に対する考慮ができていないんじゃないかな、ということがあれば、運輸局にも遠慮なく言ってもらえたらと思いますので、お願いいたします。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございます。</p> |

それでは長時間にわたりまして、ご審議、ご協議ありがとうございました。
これもちまして、志摩市地域公共交通会議第 1 回離島航路幹事会を終了させていただきます。ありがとうございました。